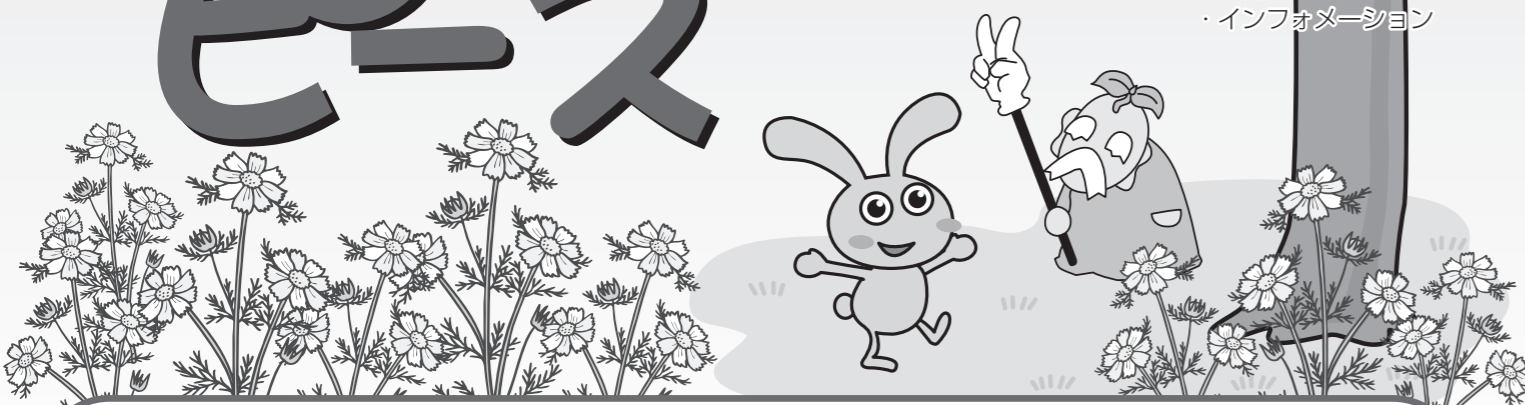


# あまいる & ピース

## CONTENTS

- ・東松山市地域福祉活動計画 中間レポート
- ・インフォメーション



## 東松山市地域福祉活動計画 中間レポート

今月号では現在策定中の地域福祉活動計画のご紹介とその進捗状況を中間報告いたします。

### 地域福祉活動計画ってなに？

今、東松山市の高齢化率は(平成27年7月現在)、25.16%、4人に1人は65歳以上であり、そのうち75歳以上の後期高齢者の割合は10.05%と、全体の1割を超えています。それに対して、20歳未満の割合は16.82%です。東松山市においても少子高齢化は急速に進行しています。また、世帯の平均人数は2.38人です。この人数は平均ですから、単身者や夫婦二人だけの世帯がいかに多いかが推測できます。

このような状況ですから、以前ならば家族の中で誰かが病気や事故等で医療や介護が必要になった場合、家族の中でなんとか助け合っていたものが、それが難しくなっているのです。

国は以前からこのような状況を見越して医療保険や介護保険等の社会保障制度を整えてきました。しかし、ご存じのように国の借金は平成27年3月現在で1,053兆円を超えています。もはや公的制度や個々の家族の努力だけでは、一人ひとりの生活を守っていくことが困難な状況になってきているのです。それでは私たちはどうすればよいのでしょうか。

福祉ということの意味について、社協では誰にでもわかりやすくその真意が伝わるように、『ふくし』という言葉の語呂合わせを使って、『“ふ”だんの“く”らしの“し”あわせ』と表現します。福祉とは、何も高齢者や障害者や子どもなど、限られた対象者だけのものではありません。私たちみんなの普段の生活の幸せについてのものなのです。

一人暮らしの高齢者を地域から孤立させないため、認知症の高齢者を温かく見守るため、子どもの健やかな成長を地域ぐるみで見守るため、障がいがあっても自分らしく生活していくために私たちはお互いに協力し合う必要があるのです。だからこそいま、私たちはこれからの地域福祉についてみんなで考えていく必要があるのです。私たちが支え合い、助け合っていくまでも住み慣れた地域で暮らしていくために、自分のできる事(自助)、お互いが助け合っている事(共助)、公的なサービスを活用する事(公助)を上手に組み合わせる必要があるのです。

### 福祉用具を貸出しています

○福祉車両の貸出  
車椅子のまま乗車できる車両の貸出を行っています。病院や施設等への一時的な送迎にご利用ください。後部座席に車椅子1台と、運転手、助手席各1人の計3人まで乗車が可能です。  
〔要件〕市内在住の車椅子利用者  
〔利用料〕基本料500円+10円/1km

### 赤い羽根共同募金が使われています

○貸出物品  
車椅子、ランディーズ(砂浜や雪上でも移動できる車椅子)チェアスキー・パイスキー(下肢に障害がある方でもスキーができる用具※要介助)高齢者・妊婦体験グッズ、アイマスク、白杖、点字板、輪投げ、フライングディスク、パドル、サンタクロース・トナカイの衣装、テント、避難所運営ゲーム他

ぜひ自治会、サロン、こども会等でご活用ください。



### 糖尿病について 学ぼう！！

〔日 時〕平成27年10月18日(日) 10:00~12:00  
〔場 所〕平野市民活動センター視聴覚ホール  
〔講 師〕東松山メディカルクリニック 早川佳夫氏  
〔整理券〕10月1日(木)より平野市民活動センター及び市民福祉センターにて配布  
※先着130枚  
東松山市平野支部主催  
問い合わせ先  
東松山市社会福祉協議会 電話23-1251



### 寄付者一覧(順不同)

次の皆様からご寄附をいただきました。ありがとうございました。

(平成27年7月16日~平成27年7月31日)

個人・法人・団体名	金額
比企地域労働者福祉協議会 様	10,000円

### 特別会員募集(賛助会員)について ~ご協力よろしくお願ひいたします~

## 1口1000円

皆様からいただいた会費は、地域福祉を推進するために身近なところで使われています。社会福祉協議会では、緊急小口資金の貸付、福祉サービスの利用援助、夏休みのボランティア体験、高齢者きらめきサロンの推進などを行っています。今後も社会福祉協議会の活動にご支援・ご協力をお願いいたします。

特別会員は、通年で募集しております。  
市民福祉センター、総合福祉エリア、市役所社会福祉課、各市民活動センター窓口にて受付しております。

社会福祉法人  
東松山市社会福祉協議会  
(市民福祉センター内)  
東松山市松本町1-7-8  
(市立図書館東側)  
☎0493-23-1251  
☎0493-23-8898  
Email:higashimatsuyama@smile-shakyo.jp  
http://www.smile-shakyo.jp  
ひがしまつやま市総合福祉エリア  
東松山市大字松山2183  
☎0493-21-5556  
☎0493-25-3305  
Email:fukushi@area.or.jp  
http://www.area.or.jp

## 野本地区

地域住民約50名の参加を得て、住民座談会を実施し、地域内のコミュニケーションが希薄化している、伝統が次の世代に引き継がれにくい、公共設備面の課題など非常に多様で多くの地域課題についての意見が出されました。今後どのようにまとめてくかを協議しています。

## 高坂丘陵地区

プラン作成に向けて、社協支部の役員が中心となって、高齢者サロン関係者へのヒアリング、介護者と新旧民生委員とのヒアリングなどが始まっています。今後、より多くの住民の意見を拾うためアンケート調査なども計画中です。

## 計画作成後はどのようなになるの？

東松山市地域福祉活動計画は平成27年度中に完成予定です。計画期間は、平成28～31年の4カ年計画となります。そして、4年後にはこの間の実践を踏まえて、地域福祉計画と地域福祉活動計画は共に2期目のさらに踏み込んだ見直しへと進んでいくことになります。

東松山市人口世帯統計表(平成27年7月1日現在)

		日本人	外国人	合計
人口	男	44,096	803	44,899
	(内高齢者)	10,421	21	10,442
	女	43,864	793	44,639
	(内高齢者)	12,055	28	12,083
	計	87,942	1,596	89,538
	(内高齢者)	22,476	49	22,525
世帯数		36,833	1,101	37,605
	(内混合世帯)		329	



東松山市年齢別人口統計表(平成27年7月1日現在)

年齢別集計	男			女			合計		
	日本人	外国人	計	日本人	外国人	計	日本人	外国人	計
～5歳	2,128	46	2,174	2,017	37	2,054	4,145	83	4,228
6歳～11歳	2,213	39	2,252	2,130	35	2,165	4,343	74	4,417
12歳～14歳	1,133	16	1,149	1,120	18	1,138	2,253	34	2,287
0歳～19歳	7,534	136	7,670	7,265	128	7,393	14,799	264	15,063
40歳～64歳	15,661	225	15,886	14,961	312	15,273	30,622	537	31,159
65歳～74歳	6,444	18	6,462	6,603	17	6,620	13,047	35	13,082
65歳～	10,421	21	10,442	12,055	28	12,083	22,476	49	22,525
75歳～	3,977	3	3,980	5,452	11	5,463	9,429	14	9,443

統計ひがしまつやまより

## 計画にはどんな内容が書かれるの？

東松山市の地域福祉活動計画は、今回が第1期目の計画ですが、まずは現在の東松山市の概況と課題について、そしてそれに対して、まず社協がどのように取り組んでいるか。そして、それらを今後どのような考え方で進めたいかを記載する予定です。そして、社協だけでなく、地域住民や自治体や各関係機関とどのように連携して進めるかをできるだけ具体的に記載していきたいと思っています。

特に今計画では、社協はできるだけ地域住民と一緒に協議を深めることに力点を置いて取り組んでいます。各市民活動センターエリアごとに地区別プラン作成部会を立ち上げ、各地域で住民の代表に委員になっていただき、その作成部会が中心となって地域の『強みや良さ』また『困りごとや課題』そして、その地域でまず優先して取り組んでいきたい重点課題と解決のために自分たちができる事などをじっくりと協議しているところです。

まだ、協議中の段階ではありますが、各地域の状況を簡単にお伝えします。



## 松山地区

住民座談会で挙げられた課題をテーマごとに作成部会でさらに掘り下げて課題出しをしました。現在、地域で重点的に取り組むべき課題について協議を進めています。今のところ、高齢者の孤立防止や地域での子育て支援についての協議が深まっています。

## 大岡地区

住民座談会で出された様々な地域課題について、分類整理し、重点項目の絞り込みを行っているところです。現在ある仕組みをいかに有効活用するか、また地域活動の拠点についての話があがっています。



## 高坂地区

住民座談会で挙げられた課題やテーマごとに作成部会でさらに掘り下げた協議が進んでいます。子育てに関連する機関へのヒアリングや新しく転入してくる人が多い自治会へのヒアリングなども行いました。現在重点的に取り組むべき課題について協議中です。



## 平野地区

住民座談会において、地域の良いところと課題について協議しました。現在、座談会の結果を振り返って協議内容を整理しています。すでに一部の自治会では先行して課題解決の実践が行われはじめています。

## 唐子地区

住民座談会において、地域の良いところと課題について協議しました。作成部会では座談会の意見を振り返り、さらに深めた協議が行われています。少子化や子育て、高齢者の孤立防止、関係者の連携などについて協議が進んでいます。